

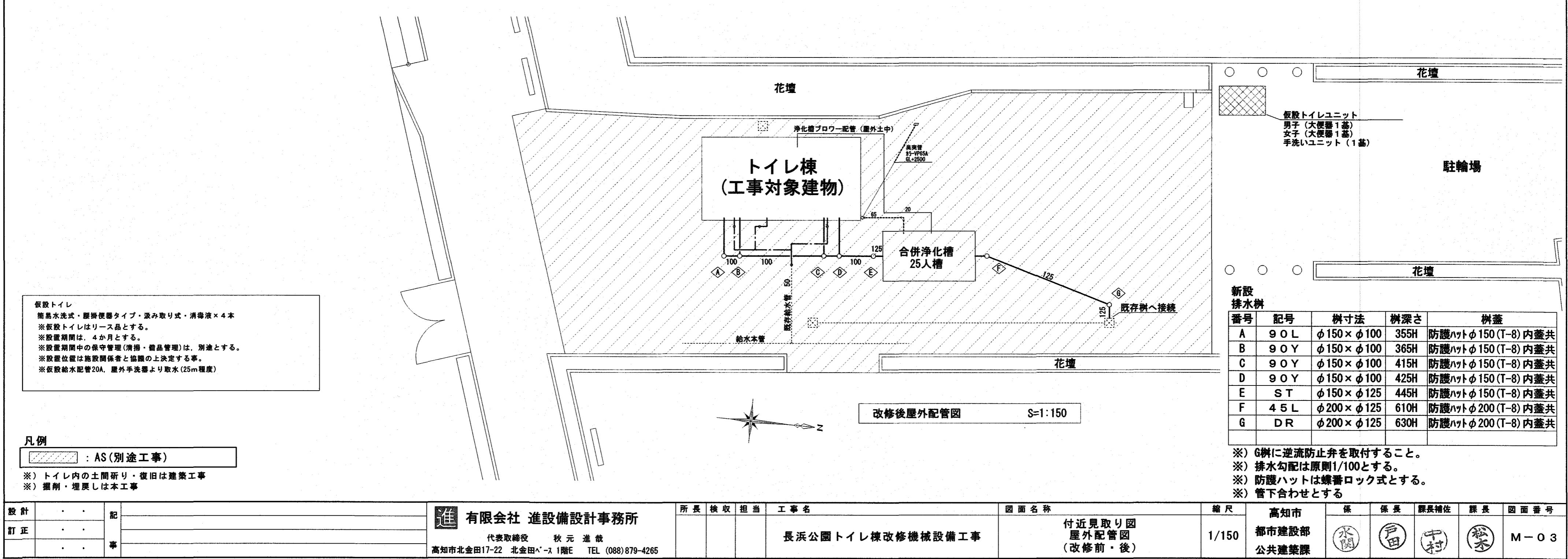
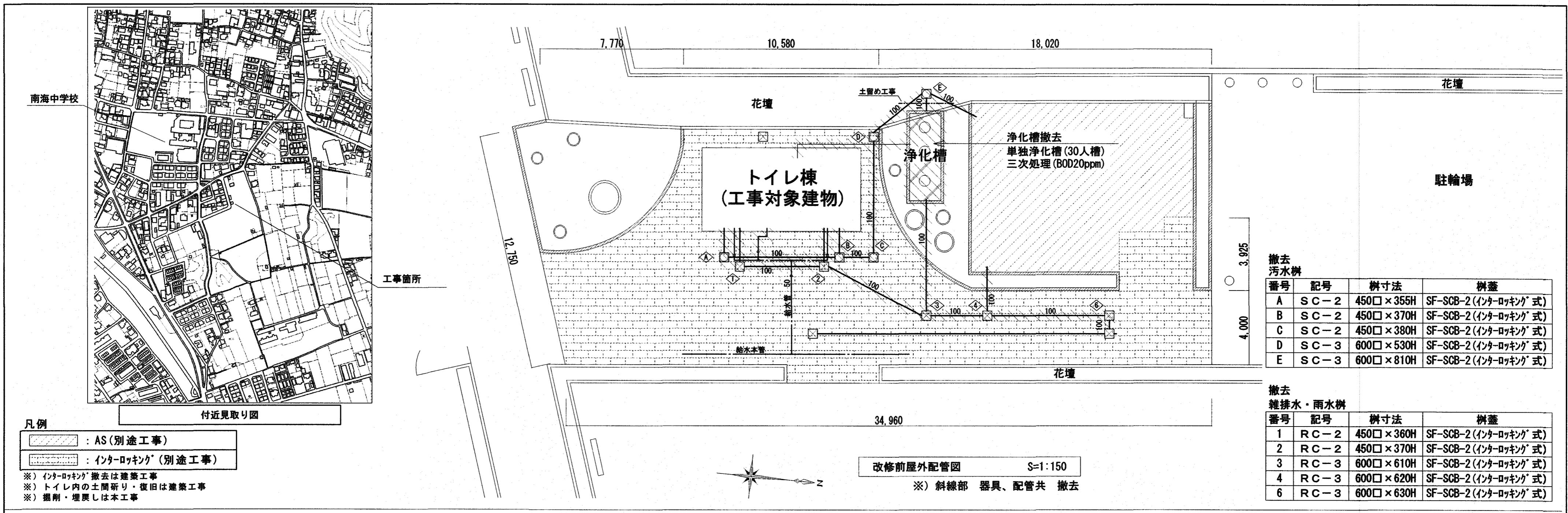
長浜公園トイレ棟改修機械設備工事

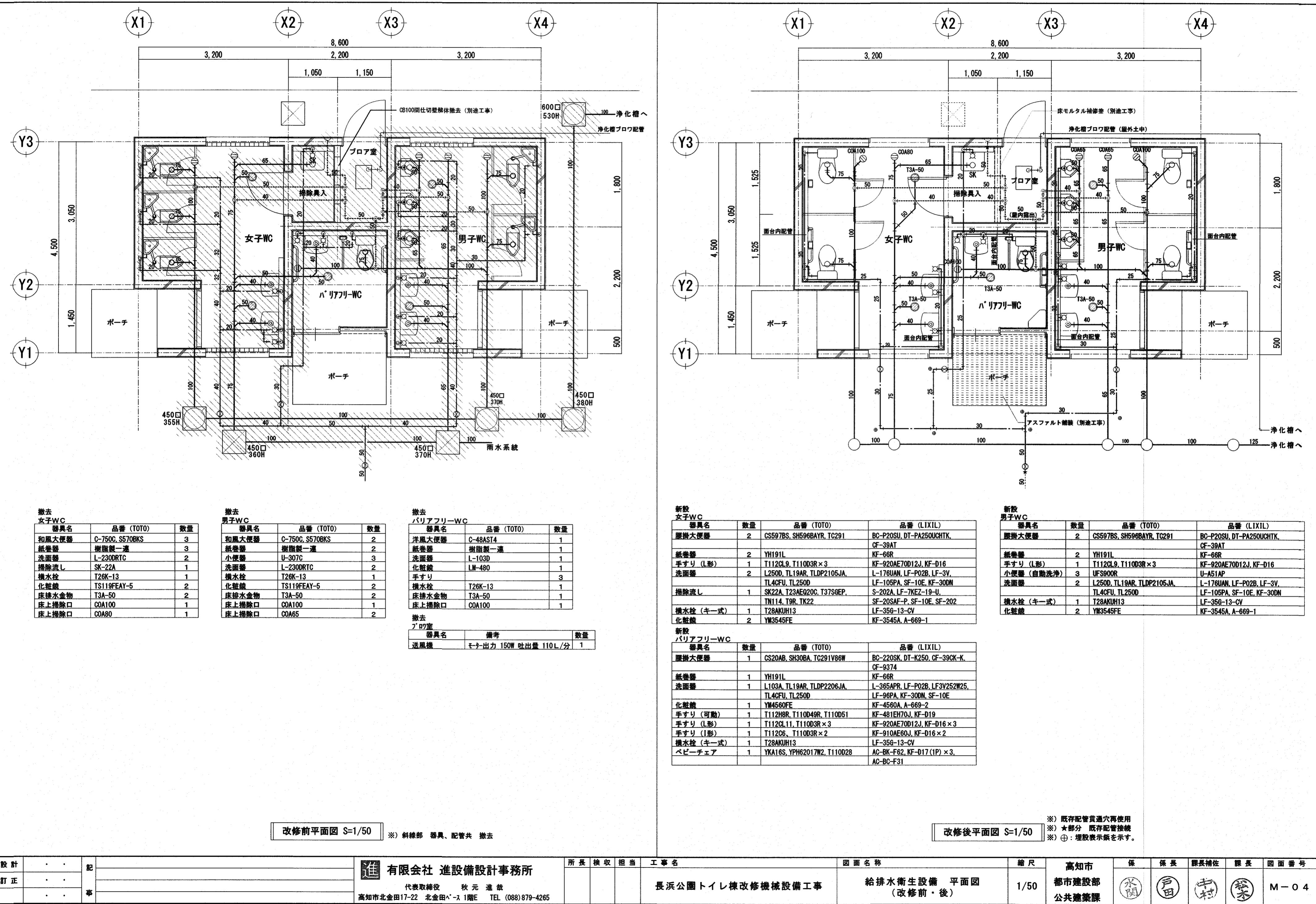
図面番号	図面名称	縮尺	備考
M-01	特記仕様書（1）	—	
M-02	特記仕様書（2）	—	
M-03	附近見取り図・屋外配管図（改修前・後）	1／150	
M-04	給排水衛生設備 平面図（改修前・後）	1／50	
M-05	合併浄化槽図（参考）	1／50	

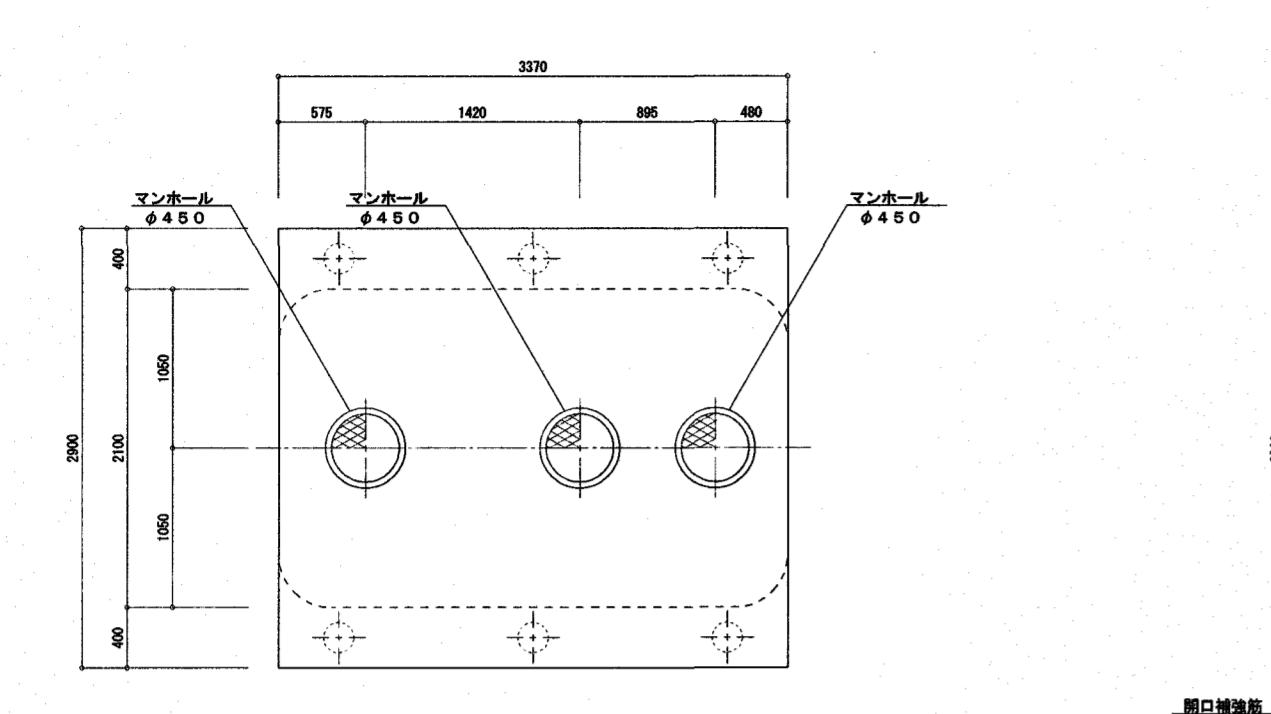
長浜公園トイレ棟改修機械設備工事 特記仕様書								項目	特記事項			項目	特記事項		
I 工事概要	高知市長浜5618番1号														
1. 工事場所	高知市長浜5618番1号														
2. 建物概要															
建物名称	構造	階数	建築基準法に基づく 延べ面積	消防法施行令 別表第一	都市計画法に基づく 用途地域										
長浜公園トイレ棟	RC	1階	33.98m ²												
3. 工事種目	長浜公園トイレ棟 衛生器具設備 給水設備 排水設備							一式	撤去工事	一式					
				一式	発生材処理	一式									
4. 関連工事等															
5. 概成工期	完成期限の()日前(令和 年 月 日)														
6. 部分使用(工事請負契約書第34条第1項)															
II 設備工事仕様															
1. 特記仕様															
1) プロジェクト名は、番号に印の付いたものを適用する。															
2) 特記事項は、印の付かない場合は、印の付いたものを適用する。印の付いた場合は、共に適用する。															
3) 特記事項に記載の()内表示番号は、「公共建築工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。															
4) 特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、「公共建築改修工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。															
5) 特記事項に記載の〈 〉内表示番号は、「建築物解体工事共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。															
2. 適用基準等															
図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房宮崎部監修部の以下による。															
* 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和4年版	※ 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)令和4年版														
* 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)令和4年版	※ 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)令和4年版														
* 公共建築設備工事標準規格(機械設備工事編)令和4年版	※ 公共建築設備工事標準規格(電気設備工事編)令和4年版														
* 建築物解体工事共通仕様書 令和4年版															
給水外線工事については、高知市水道局発行の「給水装置工事施工要領」による。															
3. 「週休2日制モデル工事」の実施について	・発注者希望型														
本工事は、工事着手日から工事完成日までの間の土曜日及び日曜日を現場の休工日の基本とする															
「週休2日制モデル工事」の方針工事である。実施にあたっては高知市「週休2日制モデル工事」実施要領(登録工事編)による。	(https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/123/syukyuhutsuka.html)														
・対象外(理由:															
項目	特記事項														
一般共通事項															
①官公署その他への手続き	工事の着手・施工・完成に当たり、関係官署その他の関係機関への必要な届出手続き等を遅延なく行う。 手続き等の費用は受注者の負担とするが、以下の費用については発注者が負担する。(1.1.3) [1.1.3]														
②工事実績情報サービス(CORINS)への登録	登録の手続きについては、(一財)日本建設情報総合センターの「建設実績情報のコリズ・テクリス登録等に関する規約」による。(1.1.4) [1.1.4]														
③書類の書式等	工事の着手に当たり、監督職員立会の下で設計図書等の照査及び施工監理資料作成の打合せを行い記録を整備する。 施工監理資料の内容及び水準は、監督職員が示す「施工監理資料一覧」による。(1.1.5) [1.1.5]														
④総合工程表	原則、工事の着手に先立ち、別契約関連工事の受注者と協議し、受注者及び別契約関連工事の受注者連名による総合工程表を監督職員に提出する。(1.2.1) [1.2.1]														
⑤総合図	工事の施工に先立ち別途契約関連工事の受注者と調整のうえ、総合図を作成し、監督職員の承認を受ける。(1.2.3) [1.2.3]														
⑥施工図等の取扱い	施工図等の内、監督職員の承認を要するものについては、施工監理資料作成の打合せ時に協議する。 施工図等の著作権に關わる当該図面に限る。発注者は、受注者に移譲するものとする。(1.2.3) [1.2.3]														
⑦工事日誌	週ごとに工事の全般的な経過及び次回の工事予定を記載した日誌を監督職員に提出する。 また、半月ごとに出来高を当初計画と共に記入し、月末には実施工程費を添付する。(1.2.4) [1.2.4]														
⑧工事写真	工事写真是L級程度とし、工事の内容、日付等必要事項を記入し1部提出する。(M4版台紙) 撮影方法は、国土交通大臣官房宮崎部監修「営繕工事写真撮影要領(令和5年度)・同解説工事写真の取り扱い 建築編」による。 デジタル工事写真的小黒板情報電子化の実施する場合は、監督職員の承認を受ける。なお、実施については、国営建設第14号(令和5年3月1日付)「デジタル工事写真的小黒板情報電子化について」による。(1.2.4) [1.2.4]														
⑨下請負者の報告	各下請負者については、下請施工予定報告書にて監督職員に報告する。														
10 電気保安技術者	適用する(1.3.2) [1.3.2]														
11 施工条件	施工日及び施工時間※(1.3.3), [1.3.3](1)による。 工事用車両の駐車場所及び資機材の置き場所※ 仮囲内 図示 その他の施工条件														
12 工事の保険	工事賃貸契約後、速やかに工事目的物、工事材料等に生じる損害、第三者に及ぼした損害を補償する保険を結ぶ。保険期間は、工事着工のときから完成期限より24日後以降までの期間とする。														
13 契約保証	※ 金銭的保証方式														
14 前払金支出し割合区分補正	・有 ○無														
15 交通誘導警備員	交通誘導警備員を配置する場合は、原則として警備業法(昭和47年法律第117号)第4条による認定を受けた警備業者の警備員を配置することとし、建設作業員等の他職種の者を従事させないこととする。ただし、一時的な作業等で、安全確保に対応できることと監督職員が認めたものについては、この限りでないものとする。														
配置人員の資格	1名以上／1班は交通誘導警備業務に係る検定合格者(1級又は2級)を配置する工事。 ※ 交通誘導に際し、1名以上／1班は専門的な知識及び技能を有する警備員等を配置する工事。														
資 格	資 格 要 件	資 格 要 件	資 格 要 件	資 格 要 件	資 格 要 件	資 格 要 件	資 格 要 件								
1. 2級交通誘導警備	交通誘導警備に関する、公安委員会が学科及び実施試験を行い、専門的な知識・技能を有すると認めたもの	人	1. 2級交通誘導警備	交通誘導警備に関する、公安委員会が学科及び実施試験を行い、専門的な知識・技能を有すると認めたもの	人	1. 2級交通誘導警備	交通誘導警備に関する、公安委員会が学科及び実施試験を行い、専門的な知識・技能を有すると認めたもの	人							
検定合格者	(交通誘導警備員A)		検定合格者	(交通誘導警備員B)		検定合格者	(交通誘導警備員C)								
警備業法における指定講習を受講したもの			警備業法における指定講習を受講したもの			警備業法における指定講習を受講したもの									

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
機械設備特記事項		11 メカニカル維手	* メカニカル維手は伸縮可とう・離脱防止性能を有し、内外面エボキシ粉体塗装を施したものとする。 * 改修工事等で鋼管類（ライニング鋼管）を切断して、やむを得ずメカニカル維手を使用する場合には、切断部の防錆処理として、J A W W A K 1 3 5規格適合品にて処置する。	12 吊り及び支持	* 原則として下図に従う。詳細は国土交通省仕様による。 横走り管の吊り及び懸垂止め最大支持間隔 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">分類</th> <th colspan="10">呼び径</th> </tr> <tr> <th>15</th><th>20</th><th>25</th><th>32</th><th>40</th><th>50</th><th>65</th><th>80</th><th>100</th><th>125</th><th>150</th><th>200</th><th>250</th><th>300</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吊り金物による吊り</td> <td colspan="10">鋼管等</td> <td>2.0m</td><td colspan="3">3.0m</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="10">ビニル管等</td> <td>1.0m</td><td colspan="3">2.0m</td> </tr> <tr> <td>形鋼懸垂止め支持</td> <td colspan="10">鋼管等</td> <td>—</td><td colspan="3">8.0m</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="10">ビニル管等</td> <td>—</td><td colspan="3">12m</td> </tr> <tr> <td>立て管の固定及び懸垂止め箇所</td> <td colspan="10">鋼管等</td> <td>6.0m</td><td colspan="3">8.0m</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="10">ビニル管等</td> <td>—</td><td colspan="3">12m</td> </tr> <tr> <td>固定</td> <td colspan="10">鋼管等</td> <td>最下階の床又は屋上階の床</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>形鋼懸垂止め支持</td> <td colspan="10">鋼管等</td> <td>各階1箇所</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="10">ビニル管等</td> <td>各階1箇所</td> <td colspan="3"></td> </tr> </tbody> </table>	分類	呼び径										15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300	吊り金物による吊り	鋼管等										2.0m	3.0m				ビニル管等										1.0m	2.0m			形鋼懸垂止め支持	鋼管等										—	8.0m				ビニル管等										—	12m			立て管の固定及び懸垂止め箇所	鋼管等										6.0m	8.0m				ビニル管等										—	12m			固定	鋼管等										最下階の床又は屋上階の床				形鋼懸垂止め支持	鋼管等										各階1箇所					ビニル管等										各階1箇所				13	* 國土交通省仕様どおりに吊り配管等を施工しても、他の資材配管等と干渉する場合は振止めを適宜設ける。 * 屋外等で吊り金物による施工ができない場合には、ラバケット等にて配管及び配管付属品を支持し、配管荷重による管の移動を抑える。	14	* 契約量水器までの埋設給水管及び埋設ガス管は管の周囲100mm程度に保護砂を入れる。 * 契約量水器以降の埋設給水管及び埋設消火管は簡易保溫管で巻く。 * 排水管は管が移動しないように中心程度まで埋めます。ただし、土圧及び上載荷重が管きよの耐荷量を超える場合は、遮断用砂で卷立て、外圧に対して管きよを保護する。 (2.2.7.1準拠) [2.2.5.1準拠] [下水道排水設備指針と解説]	15	* 管の地中埋設深さは、原則として車両道路では管の上端より600mm以上、それ以外では300mm以上とする。ただし、寒冷地では結氷深度以上とする。 (2.2.7.2) [2.2.5.2]	16	* 鋼管、鉛管のコンクリート内配管にはプラスチックテープ1/2重ね1回巻きとする。 (2.2.7.3準拠) [2.2.5.3準拠] * 地中に埋設する鉄管・鉄異形管・メカニカル維手・特殊維手類にはポリエチレンリーフ等の被覆を施すこと。 (給水装置工事施工要領)	17	保溫の種別 <table border="1"> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>屋内露出</th> <th>機械室・倉庫</th> <th>天井P.S内</th> <th>床下暗渠内</th> <th>屋外露出</th> <th>屋外埋設</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給水</td> <td>—(3)</td> <td>—(3)</td> <td>—(3)</td> <td>—(3)</td> <td>—(3)</td> <td>—(3)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>排水・通気</td> <td>—(2)</td> <td>—(3)</td> <td>—(3)</td> <td>—(2)</td> <td>—(15)</td> <td>—(15)</td> <td>:125A以上はVU</td> </tr> <tr> <td>給湯</td> <td>—(3)</td> <td>—(3)</td> <td>—(3)</td> <td>—(3)</td> <td>—(3)</td> <td>—(3)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>消火</td> <td>—(5)</td> <td>—(5)</td> <td>—(5)</td> <td>—(5)</td> <td>—(5)</td> <td>—(5)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガス</td> <td>—(2)</td> <td>—(2)</td> <td>—(2)</td> <td>—(2)</td> <td>—(2)</td> <td>—(2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷媒</td> <td>—(10)</td> <td>—(10)</td> <td>—(10)</td> <td>—(10)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機器ドレン</td> <td>—(3)</td> <td>—(2)</td> <td>—(2)</td> <td>—(2)</td> <td>—(2)</td> <td>—(2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷温水</td> <td>—(2)</td> <td>—(2)</td> <td>—(2)</td> <td>—(2)</td> <td>—(2)</td> <td>—(2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷却水</td> <td>—(2)</td> <td>—(2)</td> <td>—(2)</td> <td>—(2)</td> <td>—(2)</td> <td>—(2)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	場所	屋内露出	機械室・倉庫	天井P.S内	床下暗渠内	屋外露出	屋外埋設	備考	給水	—(3)	—(3)	—(3)	—(3)	—(3)	—(3)		排水・通気	—(2)	—(3)	—(3)	—(2)	—(15)	—(15)	:125A以上はVU	給湯	—(3)	—(3)	—(3)	—(3)	—(3)	—(3)		消火	—(5)	—(5)	—(5)	—(5)	—(5)	—(5)		ガス	—(2)	—(2)	—(2)	—(2)	—(2)	—(2)		冷媒	—(10)	—(10)	—(10)	—(10)	—	—		機器ドレン	—(3)	—(2)	—(2)	—(2)	—(2)	—(2)		冷温水	—(2)	—(2)	—(2)	—(2)	—(2)	—(2)		冷却水	—(2)	—(2)	—(2)	—(2)	—(2)	—(2)		18	設計図面に個別の記載があるものについてはこれによらない。 (2.2.1.2準拠) [2.2.1.1準拠]	19	至給縫全面の塗装下地は化学処理（エッティングプライマ）を施す。 (2.3.2.1) [2.3.2.1]	20	既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。 (2.4.1.3)	21	はつり工事 非破壊検査 あと施工アンカー パッケージ形空気調和機	22	新工事においては、原則としてあと施工アンカーは使用しない。 [2.5.1.3] 使用する場合には、工事の着手に先立ち施工計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。あと施工アンカー作業における技能者は、あと施工アンカー工事の施工に関する十分な経験と技能を有するものとする。	23	機器仕様 a) グリーン購入法調達基準適合品とし、各メーカーの最高効率機種とする。 b) 室外機仕様 ・ J R A 施設運営者様 ・ 施設運営者様 ・ 防振台架 ・ 転倒防止金物 ・ 高周波対策仕様 c) 室内機仕様 ・ ドレンアップメカ ・ 自動昇降バルブ ・ 防振装置 ・ 振止め金物	24	工事仕様 a) ドレンアップメカにより排水する場合は、機器直近にて鳥居状に配管し、立下り部直上に掃除口を設ける。 b) 配管化粧カバーは、エンドキャップを使用してテープ巻きの範囲を最小限とし、ジャバラ部材は使用しない。 c) 配管化粧カバー・配管ラッピングは室外側の直近まで施す。 d) 室内機及び室外機への電源送りは電気設備工事とし、室外機間の差電気配線及び室外機-室内機間の電気配線（アース含む）は配管、記載共工事とする。差電気配線で、冷媒配管と同じルートを施工する場所は同配管外套材内に納める。	25	空調ダクト材料 ※ 亜鉛板製 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（V U） 換気ダクト材料 ※ 亜鉛板製 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（V U） 屋外フード ウェザーカバーはステンレス製・給排気形・水切り付きとし、ペンドキャップはステンレス製・深型・水切り付きとする。 原則として、排気用には防鳥網、給気用には防虫網を設ける。	26	打合せ事項 ダクト及びダクト付属品 合併処理浄化槽	27	b) 運転管理を管理職者に引継ぐ場合は、直前に水質検査（BOD・SS・PH・大腸菌・塩素イオン）を行い、そのコピーを管理職者、施設管理者、監督職員にし、設計・施工・現況の注意事項を申し送ること。 * 見やすい場所に、型式・施工者名・設置年月・処理能力・放流水質を記した銘板を設置する。 * コンクリート製の樹（塔製作品）には、仕上がり50cm程度に砂利又は砂等で基礎を施す。 * プラスチック製等の樹には、コンクリート製または既設の複合材製による基礎を施す。 * 裝飾面に設置されない樹の茎は、周囲をモルタル等（厚さ10cm程度）により保護する。 [下水道排水設備指針と解説準拠]	28	樹 防振施工 転倒・落下・傾き防止 特定天井への対応 耐震施工 天吊り機器等の施工方法は、「建築物における天井脱落対策に係る技術基準」に適合すること。	29	局地震度法による建築設備機器及び水槽類の設計用標準水平震度 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">設置場所</th> <th colspan="4">耐震安全性の分類</th> </tr> <tr> <th colspan="2">特定の施設</th> <th colspan="2">一般的施設</th> </tr> <tr> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上層階、屋上及び塔屋</td> <td>S</td> <td>A</td> <td>B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[2.0]</td> <td>[2.0]</td> <td>[1.5]</td> <td>[1.0]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中間階</td> <td>1.5 (1.5)</td> <td>1.0 (1.5)</td> <td>1.0 (1.5)</td> <td>0.6 (1.0)</td> </tr> <tr> <td>[1.5]</td> <td>[1.5]</td> <td>[1.0]</td> <td>[0.6]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1階及び地下階</td> <td>1.0 (1.0)</td> <td>0.6 (1.0)</td> <td>0.6 (1.0)</td> <td>0.4 (0.6)</td> </tr> <tr> <td>[1.5]</td> <td>[1.5]</td> <td>[1.0]</td> <td>[0.6]</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設置場所	耐震安全性の分類				特定の施設		一般的施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、屋上及び塔屋	S	A	B		[2.0]	[2.0]	[1.5]	[1.0]		中間階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)	[1.5]	[1.5]	[1.0]	[0.6]		1階及び地下階	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)	[1.5]	[1.5]	[1.0]	[0.6]		30	別途工事 支給品 メカリスト 消防器 ・ ガス漏れ警報器 ・ 電磁調理器	31	() 内の数値は防震支撑の機器の場合、[] 内の数値は水槽類の場合に適用する。 ・ スリーブ及び箱入れの補強筋 ・ 床点検口 ・ 洗面化粧台水栓及び排水金物 ・ 断熱材被覆鋼管の場合 ・ レンジフードファン ・ 化粧鏡（多機能便所） ・ 洗面器及び空調機器のリモコン記録用配管 ・ コンクリート基礎（ ・ 室外機 ・ 水槽 ・ ポンペ庫 ・ 消火栓 ・ ガス漏れ警報器 ・ 電磁調理器 ・ 機器名 ・ 卫生陶器 ・ 水栓金具類 ・ F R P 水槽 ・ うず巻ポンプ ・ 水中モーターポンプ ・ 汚水・汚物ポンプ ・ 電気温水器 ・ 厨房機器 ・ 小型鋼板ボイラー ・ F R P 脊強化水槽 ・ ルームエアコン ・ パッケージエアコン ・ 冷温水発生機 ・ エアハンドドリーニングユニット ・ 送風機 ・ 冷却塔 ・ 自動制御機器 ・ ロールフィルター ・ 全熱交換形換気扇 ・ その他 ・ メーカー名 T O T O , L I X I L T O T O , L I X I L , 三栄水栓 三菱樹脂、日立化成、積水、ブリヂストン 荏原、日立、テラル、川本 荏原、日立、テラル、川本、鶴見 荏原、日立、川本、鶴見 四菱テック、ユーパック、日本電熱、パナソニック、三菱、日立 日本製紙、フジマック、北沢、ホシザキ四国、タニコー、マルゼン 巴、昭和、愛知、ネポン、ヒラカワ 三菱樹脂、日立化成、ホーコス ダイキン、三菱、日立、パナソニック、日本キャリア ダイキン、三菱、日立、パナソニック、日本キャリア 矢崎、日立、荏原、川重、三菱重工 新見、ダイキン、三菱、昭和、パナソニック、日立、木村、日本キャリア、三菱重工 テラル、荏原、パナソニック、谷山、ミツヤ、旭電業 アズビル、ジョンソンコントロールズ 日本スピンドル、東洋空気調和、日本エアフィルタ 三菱、パナソニック、テラル、日本キャリア、日立、ダイキン 国土交通省仕様適合品 高知市上水道局 打合せ日時 令和 年 月 日 官公庁等名 打合せ事項 官公庁等名 打合せ日時 令和 年 月 日 打合せ事項 官公庁等名 打合せ日時 令和 年 月 日 打合せ事項 官公庁等名 打合せ日時 令和 年 月 日 打合せ事項 官公庁等名 打合せ日時 令和 年 月 日 打合せ事項 工事名 長浜公園トイレ棟改修機械設備工事 係 係長 課長補佐 課長 画面番号 M-02 図面名 特記仕様書 (2) 更新日 2024.5.1 作図年 月 日
分類	呼び径																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
吊り金物による吊り	鋼管等										2.0m	3.0m																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	ビニル管等										1.0m	2.0m																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
形鋼懸垂止め支持	鋼管等										—	8.0m																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	ビニル管等										—	12m																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
立て管の固定及び懸垂止め箇所	鋼管等										6.0m	8.0m																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	ビニル管等										—	12m																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
固定	鋼管等										最下階の床又は屋上階の床																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
形鋼懸垂止め支持	鋼管等										各階1箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	ビニル管等										各階1箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
場所	屋内露出	機械室・倉庫	天井P.S内	床下暗渠内	屋外露出	屋外埋設	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
給水	—(3)	—(3)	—(3)	—(3)	—(3)	—(3)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
排水・通気	—(2)	—(3)	—(3)	—(2)	—(15)	—(15)	:125A以上はVU																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
給湯	—(3)	—(3)	—(3)	—(3)	—(3)	—(3)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
消火	—(5)	—(5)	—(5)	—(5)	—(5)	—(5)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
ガス	—(2)	—(2)	—(2)	—(2)	—(2)	—(2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
冷媒	—(10)	—(10)	—(10)	—(10)	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
機器ドレン	—(3)	—(2)	—(2)	—(2)	—(2)	—(2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
冷温水	—(2)	—(2)	—(2)	—(2)	—(2)	—(2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
冷却水	—(2)	—(2)	—(2)	—(2)	—(2)	—(2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
設置場所	耐震安全性の分類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	特定の施設		一般的施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
上層階、屋上及び塔屋	S	A	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
[2.0]	[2.0]	[1.5]	[1.0]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
中間階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
[1.5]	[1.5]	[1.0]	[0.6]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
1階及び地下階	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
[1.5]	[1.5]	[1.0]	[0.6]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

高知市 都市建設部 公共建築課

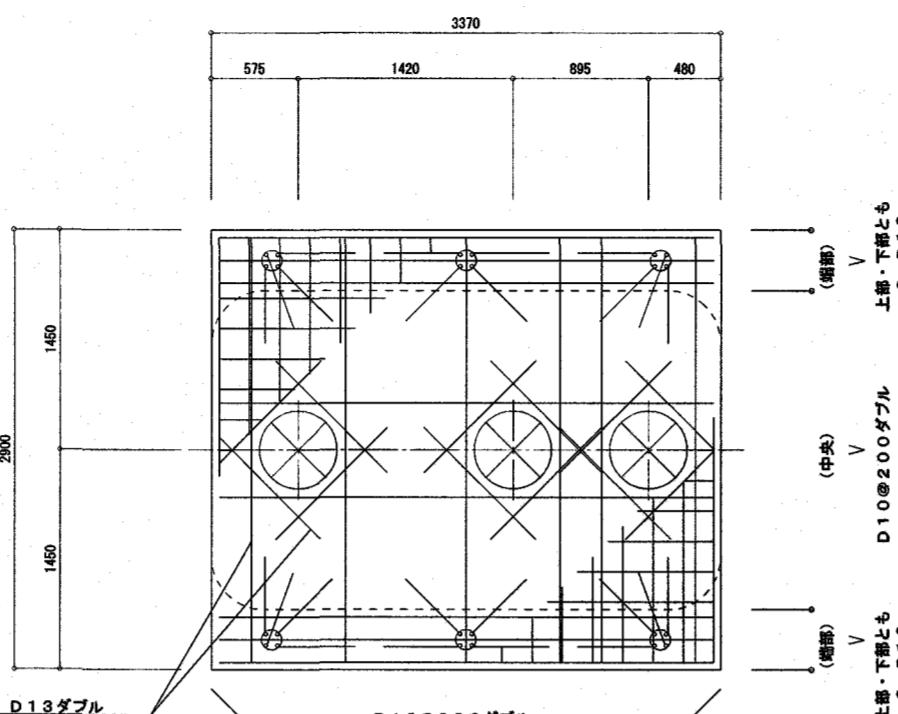






スラブ平面図 S=1:50

スラブ配筋図 S=1:50



一 般 事 項	
コンクリート	F _c = 21 N/mm ²
鉄筋	SD 295 A
鉄筋かぶり	スラブ 40
	ベース 60
定着及継手	40 d
地 墓	碎石又はRC 40~

仕様表(参考)					
処理対象人員	25人				
汚水量	5.00m ³ /d				
流入水質	BOD 200mg/L		COD 100mg/L	T-N 45mg/L	SS 160mg/L
放流水質	BOD 20mg/L		COD 30mg/L	T-N 20mg/L	SS 15mg/L
① 沈殿分離槽			有効容量	2.375	m ³
② 嫌気ろ床槽			有効容量	2.375	m ³
③ 接触ろ床槽			有効容量	1.570	m ³
④ 処理水槽			有効容量	0.846	m ³
⑤ 消毒槽			有効容量	0.053	m ³
総容量		有効容量	7.219	m ³	
機器装置仕様					
プロワ	吐出量	口径	消費電力	運転方式	台数
	200L/min	φ20	130/150W	連続運転	1
槽本体	FRP				
パイプ類	PVC、PPまたはPE				
ろ材	PPまたはPE				
マンホール	溶融亜鉛メッキ仕上げ(黒塗装)防臭型ロック式とする。				
消音剤	吸音板充填				

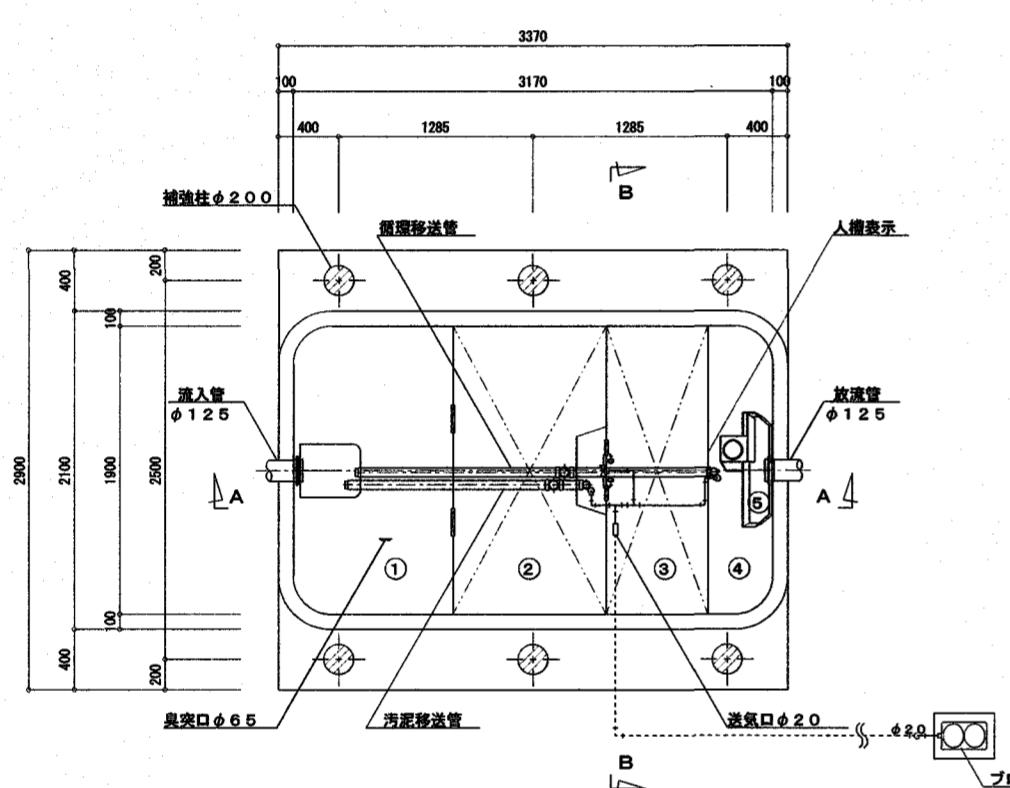
注1) 上部はT=8荷重とする。

注2) 機器電源は単相100V、総電力は130/150W(50/60Hz)、
一次側引込電気容量は1.5A以上とする。

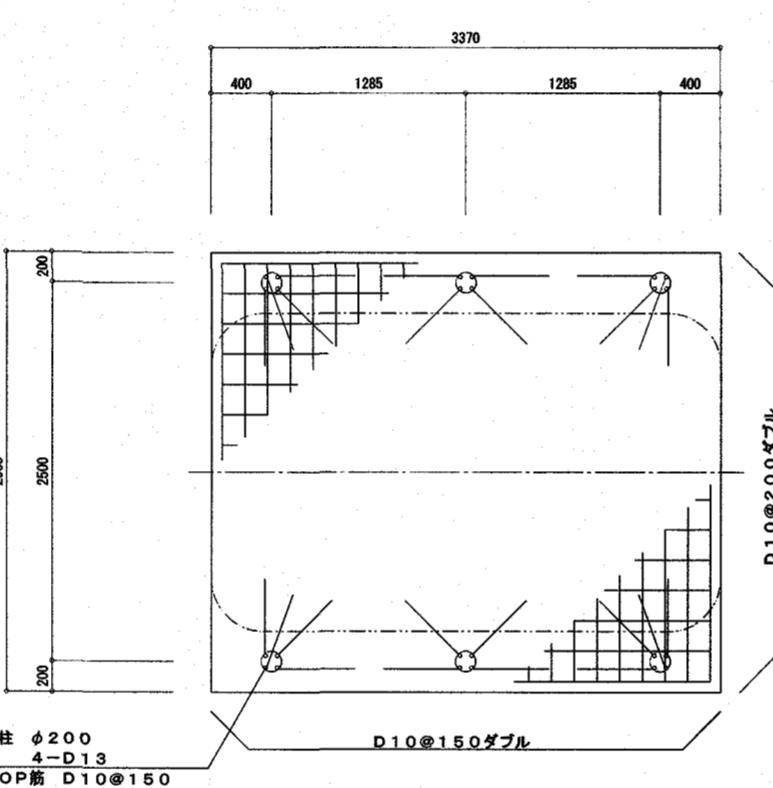
注3) 開口の”G-L”は済化槽位置での仕上げレベルを示す。

注4) 地耐力は 6.0 kN/m^2 以上必要とする。

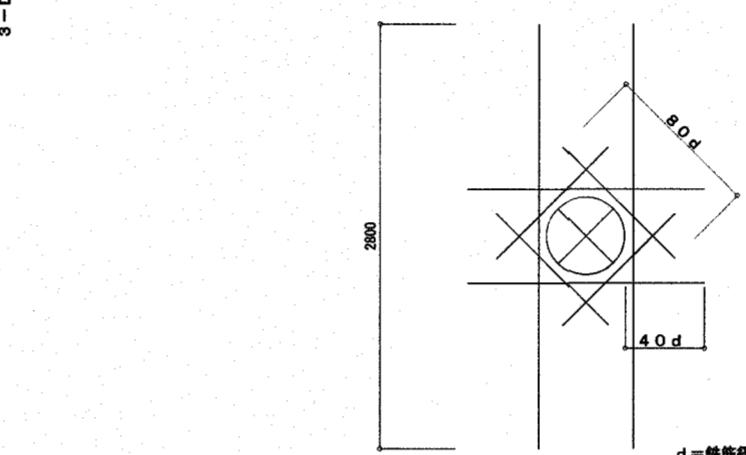
注5) 岩掘削工事、杭工事、地盤改良工事、ウェルポイント工事は別途とする。



内部平面图 S=1:50



ベース配筋図 S=1:50



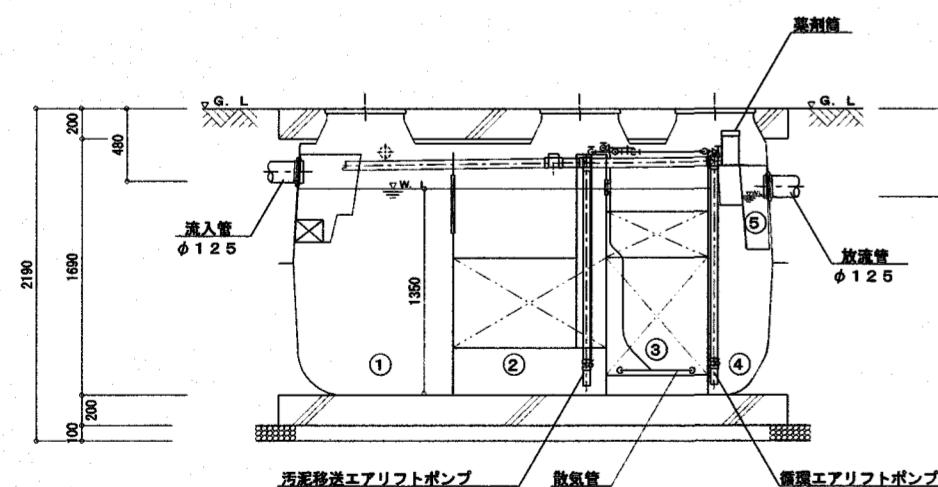
開口捕強筋詳細図

(ダイヤモンド補強:D13ダブル)

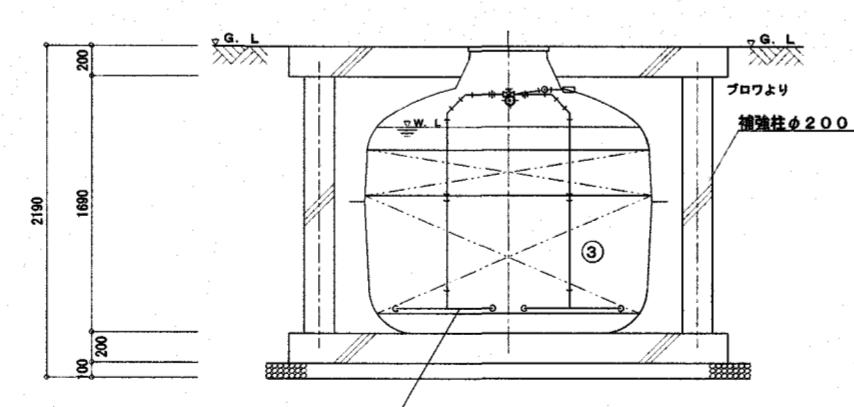
施工高さ範囲					
MH	項目	嵩上げ高さ	流入管底	放流管底	施工全高
簡易 ロック	最小寸法 (この面)	0H	G. L-480	G. L-580	2190H
	最小寸法 (嵩上)	50H	G. L-540	G. L-640	2250H
	最大寸法	300H	G. L-790	G. L-890	2500H
ボルト ロック	最小寸法	100H	G. L-610	G. L-710	2320H
	最大寸法	300H	G. L-810	G. L-910	2520H

注) 製品全高は、製品規格で±1.0mm - ±2.0mmの公差があります。

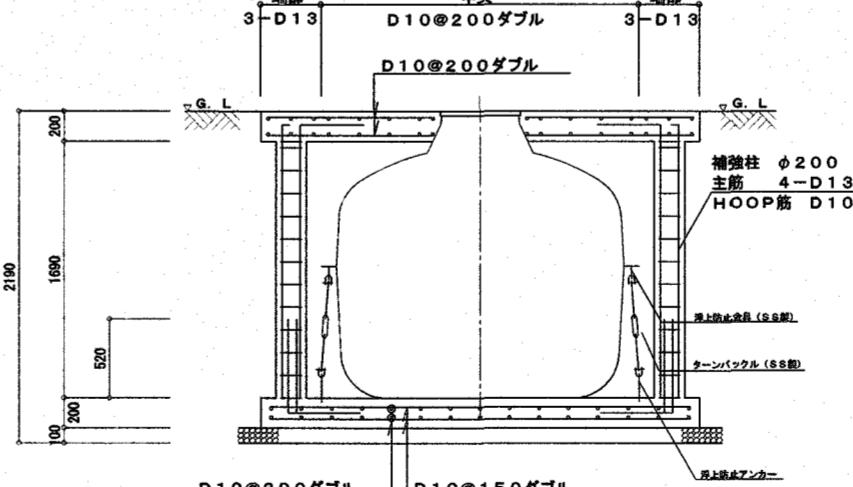
※ 製品全高は、製品規格で $\pm 0.5\text{mm}$ 、 $\pm 1.0\text{mm}$ の公差があります。



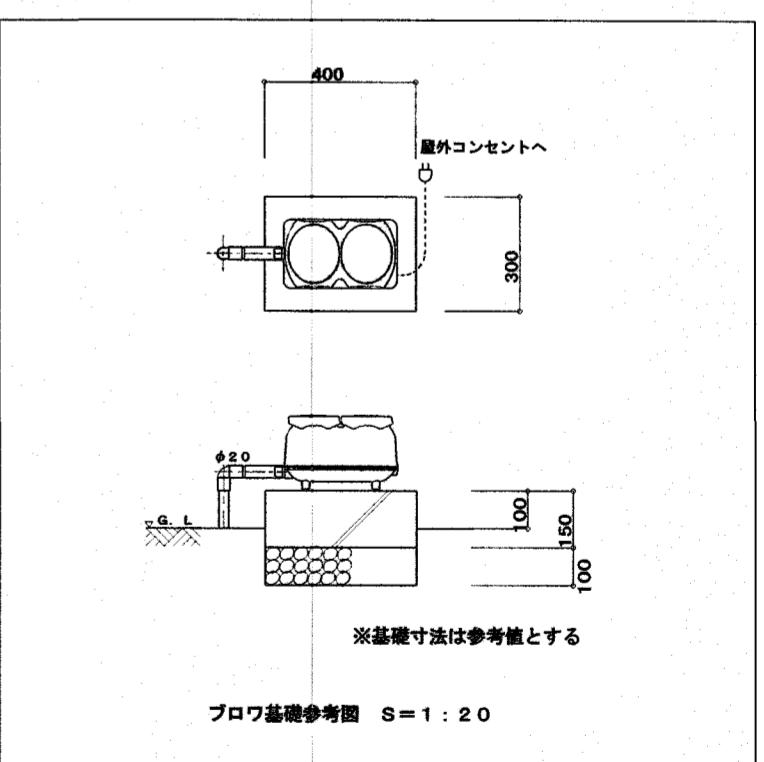
A-A断面図 S=1:50



B-B断面図 S=1:50



断面配筋図 S=1:50



*基礎寸法は参考値とする

プロト基礎参考圖 S=1:20